

タイトル：ご利用者様の生活の質の改善  
～元気になった私が外出で得た事～

キーワード

|        |
|--------|
| 自立支援介護 |
| 外出     |
| 他職種連携  |

キーワードについては  
必ず3つ記入の事！！

【施設名】： 特別養護老人ホーム 女満別ドリーム苑

|                               | 氏名      | 職種     | 備考 |
|-------------------------------|---------|--------|----|
| 研究者<br>(取組に関わった方<br>のお名前5名まで) | ① 佐藤 元  | 介護副主任  |    |
|                               | ② 小野 英樹 | 介護主任   |    |
|                               | ③ 南出 彰  | 介護課長補佐 |    |
|                               | ④       |        |    |
|                               | ⑤       |        |    |

## 施設の概要

※ここに記載した内容のうち、発表内容に直接重要な関係を持たない事項については、本資料をもって発表の際の説明から省略してください。

|            |   |                   |                         |
|------------|---|-------------------|-------------------------|
| 設置主体       | 社会福祉法人 女満別福祉会   | 経営主体              | 社会福祉法人 女満別福祉会           |
| 開設年月日      | 平成6年4月1日  | 所在市町村             | 大空町                     |
| 市町村人口      | 7,364 人   | 65歳以上人口<br>(高齢化率) | 2,524 人<br>(高齢化率 34.4%) |
| 利用者定員数     | 60 人  | 利用者平均年齢           | 90.9 歳                  |
| 職員数        | 48 人  | 職員数内訳             | 介護職 36 名<br>看護職 5 名     |
| 併設施設・事業    | 短期入所生活介護施設(10床)、通所介護事業、訪問介護事業、居宅介護支援事業他   |                   |                         |
| 施設のサービスの概要 | 女満別ドリーム苑は平成6年4月の開設以来、個人の尊厳の保持と地域連携の思想を基本理念とし、公正・公平かつ健全で活力ある法人運営に努めております。平成24年度より全国老人福祉施設協議会主催の介護力向上講習会へ参加し、平成26年には「日中おむつ使用率0%」に至り、現在も継続しています。 |                   |                         |

## 発表の概要

|  |  |
|--|--|
| <p>①取り組んだ課題</p> <p>在宅時より孤独や不安から家族を頻りに呼ぶようになり家族の負担が増えた為当施設の短期入所サービスの利用を経て、特養の入所へ至った。</p> <p>入所後も昼夜問わず頻りに職員を呼ぶことが多く、日中はダイニングのソファで横になり過ごす事が多かった。食事ソフト食を召し上がったが、他職種と連携し自立支援介護の基本である「水・食事・排便・運動」を中心としたケアを提供する事により状態に改善が見られ、ご友人と外出する事が出来るようになった為報告いたします。</p> <p>②具体的な取り組み</p> <p>他職種とカンファレンスを行い、入所時の状態の把握と、取り組むケアの内容について話し合う。</p> <p>①1日の水分計画を立案。<br/>(803ml～1,615ml)</p> <p>②歩行器を使用した歩行運動の実施。<br/>(54m～208m)</p> <p>③便秘・ブリストルスケールの改善、定時排便の確立。<br/>(下剤の中止、食物繊維の提供、腸内環境の改善、)</p> <p>④食事状態の改善。<br/>(義歯の作成、常食の提供)</p> <p>⑤外出・活動<br/>(当施設に入所している友人との外出、夕食の計画立案や、施設内で行っている喫茶店へのお出かけ等の実施。)</p> | <p>③活動の成果と評価</p> <p>①意識レベル・覚醒水準が改善し日中趣味・活動が出来るようになった。</p> <p>②義歯を作り、常食を食べる事が出来るようになった事で2回夕食をする事が出来た。</p> <p>③ユニット内の友人と外出し、道の駅や地元幼稚園の発表会にいく事が出来たことで、知人以外の利用者とも話す事が増えた。</p> <p>④本人より多少体調が悪くても歩きたいと話が聞かれるようになった。</p> <p>④今後の課題</p> <p>①自宅への外出・外泊は行えなかった為、生活の幅を広げる為にも検討する。</p> <p>②基本ケアを継続し、屋外歩行の練習についても検討する。</p> <p>③施設として地域の方々に自立した生活の維持、回復が出来るように自立支援介護を普及していく。</p> <p>⑤参考資料など</p> <p>・小平めぐみ(2013)『介護の生理学』竹内孝仁監修 秀和システム</p> |
|--|--|